

東林館高等学校 通信教育実施計画

科目名(単位数)		体育(2)			
対象年次			期別	必要面接時数	レポート数
原則 1年次			通年	10	2
科目の概要	各スポーツの歴史や特徴について知り、運動技能のしくみについて学習する。 実技は、ネット型、ゴール型、体づくり運動等を行う。				
科目の目標	スポーツの歴史や特徴、運動技能のしくみ、特性を理解する。また、運動の楽しみ方を学ぶ姿勢を養う。				
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲
	①スポーツの始まりと変遷	スポーツの始まりと変遷についての知識を身につけることができる。	1		
	②陸上競技	陸上競技の歴史や特徴等について理解する。	2		
	③文化としてのスポーツ	文化としてのスポーツについての知識を身につけることができる。	3		
	④バスケットボール	バスケットボールの歴史や特徴等について理解する。	4		
	⑤日本生まれのスポーツ	日本生まれのスポーツについての知識を身につけることができる。	5		
	⑥オリンピックとパラリンピックの意義	オリンピックとパラリンピックの意義についての知識を身につけることができる。	6		
	⑨スポーツが経済に及ぼす効果	スポーツが経済に及ぼす効果についての知識を身につけることができる。	7		
	⑧テニス	テニスの歴史や特徴等について理解する。	8		
	⑨スポーツの高潔さとドーピング	スポーツの高潔さとドーピングについての知識を身につけることができる。	9		
⑩バドミントン	バドミントンの歴史や特徴等について理解する。	10			
実技	ペタンク、モルック、ウォーキング、バドミントン、卓球等を行う。 ※到達目標：互いに協力し、競技に楽しむことができる。自己の考えを他者に伝え、他者の考えを受け止めることができる。				
評価方法	・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ ・オリンピックとパラリンピックの意義	スポーツの歴史や文化としてのスポーツの特徴等、オリンピックとパラリンピックについての意義と課題を理解し、問題を解いていくことができる。		1	前期
	・スポーツが経済に及ぼす効果 ・スポーツの高潔さとドーピング ・スポーツと環境	スポーツが経済に及ぼす効果、高潔さやドーピング、環境についてを理解し、問題を解いていくことができる。		2	後期
	年度末の学習評価は下記の通り行う。 学習評価(観点別評価)□ 添削指導 面接指導 定期試験 知識・技能□ 60% 40% 思考・判断・表現□ 60%□ 40% 主体的態度□ 10%□ 90%□ 0%				
単位の修得	①レポート：規定回数のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング：規定回数の全ての回に出席すること。 年間10時間出席すること。学習プリントをする場合は問題を解き、必ず提出すること。 (実技点：体育プリント…10点、少人数体育…15点、体育スクーリング…25～30点) ③定期試験：前期試験1回、後期試験1回を受けること。 ④評定は、観点別評価をふまえ総合的に判断する。達成状況と評定の関係は次の通りとする。 〔～2割：1、2割～4割：2、4割～7割：3、7割～9割：4、9割～：5〕				
使用教科書等		教科書：現代高等保健体育（大修館） 学習書：現代高等保健体育 学習書 全国高等学校通信制教育研究会（大修館）			
学習上の留意点		・スクーリングに出席する際は、教科書と学習書を必ず持参すること。 また、DVD視聴をする場合は体育受講報告書を必ず書いて提出すること。 ・レポートは1年間で4枚配布するので、すべてを提出し合格が必要である。			